

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくキッズ天神橋		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どものことを十分に理解して、こどもの特性に応じた専門性のある支援を提供することができています。	・児童一人一人に合わせた支援プログラムを作成、実施しています。 ・ビジュアルトレーニングを取り入れ、視覚機能を向上させ、学習や運動のパフォーマンス向上に繋げる取り組みを行っています。発語が少ないお子さんへ語彙力とコミュニケーション向上を促す、PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を取り入れています。	・子どもの成長や状況に応じてプログラムの変更を行っています。 ・ひらがなや漢字コグトレ等コグトレの充実を図っています。
2	・日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達、支援の状況について共通理解が出来ています。 ・職員の意見等を把握する機会を設けて業務改善につなげています。	・お迎えの時間に、活動の様子やご自宅の様子、お困りごとなど相談しやすい体制を整えています。 ・ミーティングや共有ファイルなどで、全スタッフと情報共有しています。	・定期的に面談の依頼を行い、現在の状況、今後の支援の取り組みなどじっくりと話が出来る時間を設けています。 ・定期的にスタッフ会議が持てるように月ごとの計画を立てています。
3	・職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	・法人内の研修に参加、報告書を共有しています。 ・職員が希望する社外の研修に参加できる体制を整えています。	・今後も継続して、様々な研修の情報提供を行って参ります。 ・事業所内で必要な療育の研修を多く行っていく、そのための年間計画を立てて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースが混んでいる日は密度が高いと感じる。児童が複数人になると狭く感じる。	・利用児童の増加、利用時間が重なる事がある為、狭さを感じるかと考えています。 ・活動スペース全体の子供が広く見渡せる為、死角がありません。	・安全面に配慮し、壁や床にマットを敷いています。 ・限られた空間の中、活動の場所を工夫しています。 ・テーブルや色などで、視覚的に分かりやすい環境を整えています。 ・中学生など個別に話がしたい時など面談室を利用することも可能なのでその都度促しをしております。
2	・保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	・事業所内の父母の会、保護者会など、現在ご希望される方がいない、また、他利用者との関わりを懸念される方もいるため、個人情報尊重して交流する機会は設けていません。 ・個別の面談で家族支援を行っています。また、お母様だけで対応が難しい際に、様々な情報を提供する場を設けています。	・今後、事業所のイベントなどを取り入れ、保護者やごきょうだいが参加しやすい取り組みを検討しています。（サービズ提供時間外にビジュアルトレーニングマシンを体験してもらうなど）
3			